

## 「東海第二原発から 30km 超えた地域でも住民説明会の開催を！」 住民への署名活動と首長への要請活動を ご依頼申し上げます。

東海第二原発を運営する日本原電は、2014年より毎年、30km圏内の自治体での住民説明会を主催していますが、重大事故が起きれば30kmを超えて放射能の影響は計り知れず、30kmを超えた地域での住民説明会も開催するべきと当会は考えています。

今回の活動は、防災計画や避難計画を30km圏内にしている国の原子力災害対策指針に対し、30km圏外の自治体から疑問を投げかけることを首長へ要請し、自治体の住民にも署名を通して、その疑問に賛同していただくことを目的としています。

30km圏外の自治体それぞれで同時期に活動することで、社会へのアピールも大きいと考えていますので、趣旨にご賛同いただき、活動の取り組みをよろしく申し上げます。

### ◆ご依頼すること

**住民への署名活動** ・署名集約先になって、署名活動をお願いします。

**首長への要請活動** ・集めた署名用紙をもって首長への要請をお願いします。

※日本原電の住民説明会は、今年は4～6月に30km圏内の自治体で開催されました。

次回2020年に想定される説明会に影響を与えられればと考えます。

署名は2019年12月末の第二次集約を目処に、その後、首長へ要請をお願いします。

※当会のホームページにて、本活動の案内と、それぞれの自治体での進捗を紹介させていただきたいので、当会への情報提供をお願いします。

### ◆経緯

2018年8月21日、当会の共同代表3名で日本原電を訪れ、「県全域での住民説明会の開催」を要請しました。担当した地域共生課の方から「30km圏外の首長から住民説明会の要請があれば検討せざるを得ない」との発言がありました。

(参照) 毎日新聞 <https://mainichi.jp/articles/20180822/ddl/k08/040/162000c>

2018年12月～2019年3月、当会の会員の市議に相談して、牛久市・つくば市の両市議会にてそれぞれの市長へ「30km圏外での住民説明会」の質問をお願いしました。

また、2019年2月より、千葉県東葛6市長（我孫子市・柏市・鎌ヶ谷市・流山市・野田市・松戸市）宛に「住民説明会を東葛地域で開催することを日本原電と規制庁に求める」署名活動が開始されました。

(参照) [http://blog.livedoor.jp/longtailed\\_tit\\_k/archives/36534723.html](http://blog.livedoor.jp/longtailed_tit_k/archives/36534723.html)

その活動を参考に、東海第二原発から30kmを超えた茨城県内の地域でも同様の活動ができないか検討し、本企画となりました。

### ◆お問合せ：脱原発ネットワーク茨城

共同代表 江口肇(TEL 090-9299-3783)、小川仙月(TEL 090-5548-3078)、永井悦子(TEL 070-5079-6308)  
〒305-0027 つくば市東岡 536-1、メール [nonukes.ibaraki@gmail.com](mailto:nonukes.ibaraki@gmail.com)、HP <https://nonukes-ibaraki.jimdo.com/>

本会は、福島原発事故をきっかけに2011年7月に設立。県内の会員を中心に「原発に頼らない社会」の実現にむけて活動しています。